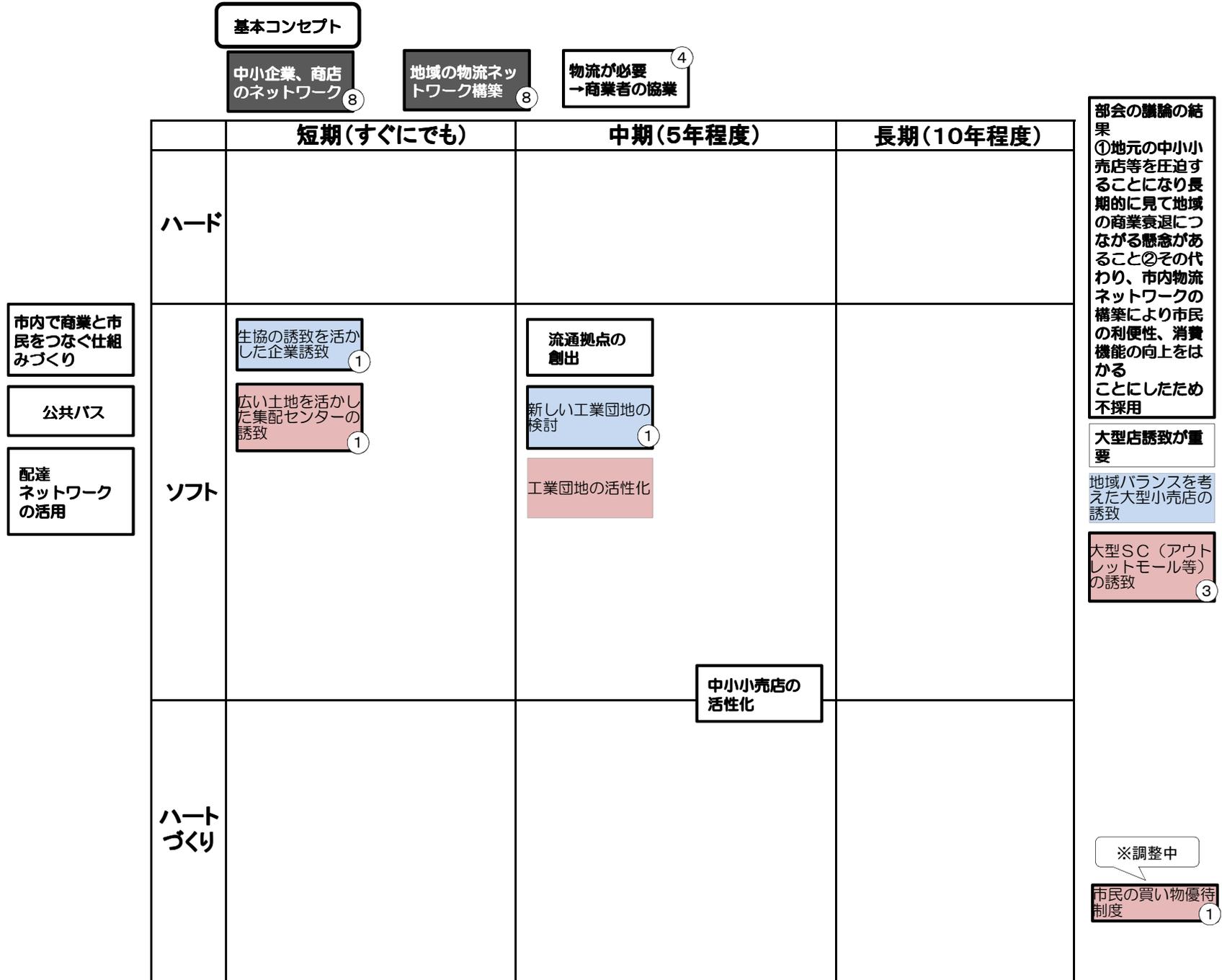


基本コンセプト

食産業を江別の柱とし、フードコンプレックス関連で企業誘致と地域農業との連携をとることが必要

江別が誇れる産業である農業を大切に
②

継続的に取り組むべきもの		短期(すぐにも)	中期(5年程度)	長期(10年程度)	民間セクター
江別ブランド 地産地消の推進 市民が江別ブランドを理解して市外へ販売 ② 6次産業化により、ブランド力、高付加価値の商品開発 ③ 質のよい農産物のPR ② 江別スイーツ、パン、江別ビールのPR ⑥ 農家民宿、農家レストランによる地産地消 ⑤ 農産物直売所のPR ⑤ 産業分野の情報戦略 野菜直売所、体験型農場のPR ③	ハード 農業者の所得水準、農業の魅力向上のための土地改良などの農業基盤の強化 れんが、小麦、野菜、チーズで江別ピザを販売 ④ ※調整中	農産物の貯蔵などへの冷熱エネルギーの活用 ③ 冬に出荷するための貯蔵庫を整備 ② 泥炭を暖房に利用したハウスによる農業の周年化		おいしく安い野菜を活かし、農産物直売所を増やす ⑤ 菊水ととんでんファームのコラボなど既存資源で高付加価値化 ⑤	
	ソフト 情報の収集と発信の一元化 農業と産業、大学が一体となって、江別小麦などで町おこし ⑥ 食品・農産物加工など江別の産業を活かす企業の誘致 ② 若者の雇用を創出できる大型の農業生産法人 フードコンプレックス特区を活用した産業振興 ④ 大学と農業、商業工業の連携の推進 ④ 江別産の農産物を道外へ売り込む戦略が必要	市民が家庭菜園などの憩いの場として自由に使える農地を長期間貸し出すシステムを構築 産官学連携により、農産物から医療・医薬・サプリメント等を開発し、東南アジア方面へ展開	食の観光	どんぐりで飼育するイバニコ豚の導入（どんぐりは植樹） ① 市が主体となった営農指導体制 巨大市場の札幌をターゲットにした農作物 新規就農を支援する会の発足 ② 新規就農の支援、法人化 ① 市役所職員が江別の街中で飲食しなくなった ①	
	ハートづくり 農業の後継者対策 ② 学校給食で使う江別産食材を増やし、お昼の校内放送で食材を紹介	農協や個人が新たな取り組みをはじめ、農場の相談窓口の設置 農場で繁忙期に働くことで単位をとれるような、農業と大学の連携 農産物のブランド化 ⑤ 江別の農産物を使ったイベントの開催 ⑤		作物の世話を請け負うネットを利用した首都圏向けの貸し農園 ① 江別恵庭線に農産物直売所を整備 ① 作付面積・収穫量が北海道1位であるブロッコリーを加工して付加価値化 打ち上げ花火の形を使って特産品をPR 輪作体制の構築が必要	



- 基本コンセプト** 魅力的な街とするため箱物よりもソフト面の充実が必要
- 市民目線の観光** ① 学生の視点による観光プロジェクトの立ち上げ
- 観光資源のネットワーク化** ⑤ 既存の資源を組み合わせた観光パッケージ化 ②
- 今ある地域資源の観光資源化** ⑥ 農村地区の観光活用(フットパスなど) ①

不採用

継続的に取り組むべきもの

	短期(すぐにも)	中期(5年程度)	長期(10年程度)	
ハード	<ul style="list-style-type: none"> れんがを利用したデザイン性のある身近なものを商品化 ③ れんが、ヤツメウナギの活用 ③ 歴史的施設の保全活用 ① 埋蔵文化財センター、文京台小学校の天文台、四季の道の活用 ④ 北海道有形文化財に指定された土偶の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 川の活用の推進 行政主導の道の駅の整備 ① 道の駅を整備し、働く場をつくる 3つの河川を財産として有効活用 ① 石狩との間で船を運航し、船着場に屋台村を整備 ③ 河川防災ステーションの道の駅との再整備 ① 大型イベントを開催できるイベント会場の整備 ④ 河川防災ステーションの活用(親水空間、直売所など) ④ 石狩川の活用(雄大な流れが眺められる喫茶、カフェ体験など) ⑤ 道の駅を整備し、江別産の食事、食材、エベチュングッズを販売 ⑥ 	<ul style="list-style-type: none"> 野幌森林公園のフットパスの整備 ① 野幌駅から原始林まで行く道の整備 野幌森林公園の江別側からのアプローチ(大沢口)の整備 ① 人を呼べる大きなイベントホールの整備 ① 老若男女が集まることのできるイベントや交流の場、広場の設置 ① 	<ul style="list-style-type: none"> 野幌森林公園の木が生えていない場所へ市民参加による植林 ③ ホテルがみられる場所への標識整備 ③ 野幌小学校の木造校舎や自然の活用 防災ステーション近くに水遊び、スケートのできる親水公園を整備 ④ 湯川公園を道の駅として整備し、野菜や特産品などを販売 ①
ソフト	<ul style="list-style-type: none"> 野幌森林公園の豊富な自然の活用 ③ スノーフェスティバルの魅力向上 ① セラミックアートセンターの活用(アクセスの改善含めて) ③ 道立運動公園の活用 ① 江別高校跡地のイベント会場としての有効活用 ① れんがを活用したイベントの開催 ① 食による観光の推進 江別スイーツとのコラボでやきもの市に若者を呼び込む ④ EBE-1グランプリとやきもの市の同時開催 ③ 	<ul style="list-style-type: none"> 工場見学ツアー ④ 観光資源のネットワーク 市内の観光資源を巡る観光バスツアーの実施 ④ 遊歩道などによる市内観光施設のルート化 ① やきもの市や買い物めぐりなどのフットパスコース ① 石狩川の川下り体験や水運の歴史学習 ⑥ 	<ul style="list-style-type: none"> ※調整中 	<ul style="list-style-type: none"> EBE-1や江別ブランドを企業や他市にとられない工夫 ① 市営ライダーハウスの整備 ① 昔チョウザメがいたことを活用
ハートづくり	<ul style="list-style-type: none"> EBE-1を定例化して江別産をPR ④ 音楽による商店街への集客・にぎわいの創出(野幌商店街と大学生の連携) 野幌森林公園における野鳥の会の人などによる案内ボランティア ② 江別のやきもの(どんぶりづくり)と小麦(収穫⇒製粉⇒製麺⇒ラーメン)を結び付けて観光資源化 			<ul style="list-style-type: none"> JR防風林に宿泊・自然体験施設を整備 ① やきもの市の開催期間の延長 月に2、3回市内のどこかでやきもの市をイベントとして開催 札幌競馬場の誘致 廃校舎や民家の宿泊利用 ②

観光の情報戦略

江別市内の観光資源化の情報収集

イベント出身の有名人を呼んだイベントの開催

有名人の観光大使任命による市のPR ②

中国などからのフィルムコミッションの誘致

美味しい店の情報などの観光マップを作成し、駅などに配置 ②

民間セクター

エベチュンの活用 ③

シネコンの活用

※調整中

	短期(すぐにも)	中期(5年程度)	長期(10年程度)
ハード	<p>学生向きの店(飲み屋)が少ない ①</p> <p>まちコンをやる場所がない</p> <p>市外の人気が高い入浴施設の活用</p> <p>商店街への消費者ニーズは? ①</p> <p>商業機能の維持 ①</p>	<p>シャッター通りを逆手に取った有効活用(おばけ屋敷など)</p> <p>職業科の学校を建設し、卒業後も市内で仕事ができるような施設をつくる</p>	
ソフト	<p>積極的な企業誘致が必要 ①</p> <p>高齢者のコミュニティビジネスの取組みによる生きがいづくり</p> <p>平日の人口確保のため魅力となる拠点を模索</p>	<p>元気な高齢者が働ける場づくり ⑤</p> <p>大学卒業後の雇用の場づくり(例:介護施設) ③</p> <p>いい意味でえこひいきできるまちづくり会社の設立 ①</p>	<p>セラミックアートセンターの民間への売却</p>
ハートづくり	<p>企業と学生のマッチング ③</p> <p>大麻・文京台地区の大学の近くにある空家などを活用したベンチャービジネス</p> <p>若い人を呼び込むための産業・企業が必要 ①</p>	<p>子育て世代の人たちが短時間でも働ける場所が必要 ①</p> <p>若い人が安心して働ける街づくり ①</p>	

地元にお金が落ちる仕組み ⑤

ネットワーク型経済へ ⑥

	短期(すぐにでも)	中期(5年程度)	長期(10年程度)
ハード		<p>高齢化を見据えた 徒歩でも買い物し やすい街 ②</p>	<p>商店街としての街 並みの回復 ②</p> <p>高齢者向けの 公園の設定</p> <p>他市の人が訪れる ような大型公園の 整備</p> <p>鉄道林南側への連 続性のある桜の植 樹 ①</p> <p>桜や紅葉する街路 樹を植樹し、食事 のできる場所に整 備 ②</p>
ソフト			
ハート づくり			